

ニホンザル被害を防ぐために ～遭遇した場合の対応～

サルへの餌付けや刺激する行為は控えましょう。

ニホンザルのオスは、4歳から6歳に達すると、生まれ育った群れを離れて、他の群れへ入るために移動する習性があり、その過程で市街地に迷い込むことがあります。（そのような個体はハナレザルと呼ばれています。）

移動の最中であるため、餌を与えず刺激を与えなければ、多くの場合は自然に立ち去ります。

サルに出会った場合は、以下の4項目をお守りください。

1. 近寄らない！

野生のサルと出会ったら、刺激せずに**落ち着いて離れて**ください。興味本位で近づく行為や追いかけることなど、サルを刺激する行為は控えてください。

2. 目を合わせない！

サルと目を合わせると威嚇されたと思い、人が視線を逸らしたときに襲ってくる場合があるので、サルの**目を見ないで**ください。

3. 声を出さない。追いかけない！

大声を出したり、追いかけたりするとサルが興奮して、人に危害を与える場合があります



4. 食べ物を見せない。与えない！

エサを与えることにより、人に慣れてしまうと、家屋に浸入するなど地域全体に被害が発生する恐れがありますので、**エサは絶対に与えないで**ください。食べ物や生ごみ等を家の外に放置するのもやめましょう。

ハナレザルを目撃したら、ご連絡ください。

- ・被害の内容
- ・どこでいつ見かけたか
- ・サルの特徴

等について、最寄りの市町村、もしくは管轄の県地方振興局へ連絡ください。

